**10．“So Yesterday”（1） 〜授業後何をする？〜**

* 目標：質問を聞き、be going to の文章を使って放課後の予定を言えることができる。
* 対象：中学２年生
* 文法：be going to
* 語彙：can, black tomorrow, wake up, after school, sports, club activity
* 準備：ワークシート・歌詞カード・音源（iPod/CD: Hilary Duff “So Yesterday”）

**＜タスクの進め方＞**

* **Pre-task**
1. 歌詞カードとワークシートを配布する。
2. 同じ場所をもう一度聞き、穴埋めをする。（二回行う）
3. 隣の人と答えを確かめ合わせる。
4. 歌詞からgonna と wannaを探し出させる。
5. gonnaとwanna は何の省略形かを考えさせ、隣の人と話し合う。
6. 教師が gonna と wanna の意味の確認をする。
* **Task（Interview game）**
1. 放課後何をするのかを尋ねるときの文を書かせ、発音練習をする。
2. 生徒全員と先生で会話のモデルを出す。その際先生は、ジェスチャーをし、生徒に答えさせる。
3. 自分の予定を書く。
4. 隣の人とインタビューの練習をする。

Script [A: Student (A) B: Student (B)]※下線部はgonnaにする。

A: Hello! How are you doing?

B: I’m (your feeling: fine, ok, not bad…). How about you?

A: I’m (your feeling). Anyway, what are you going to do after school?

B: I’m going to ( Your idea ) after school.

A: That sounds (expression: good, interesting, great, jealous, terrible…).

B: How about you? What are you going to do after school?

A: I’m going to ( Your idea ) after school.

B: That sounds (expression)

A: I’m going to go. Nice talking with you.

B: You, too.

1. クラスメイトとインタビューをする。(５人にインタビュー)
2. インタビューを終えたら、友達の授業の予定を英語で書く。

**＜ワンポイント・アドバイス＞**

Pre-task では、まったく聞き取れなかったり、聞き取っていても自信がなかったりする生徒がいるので、少しでも聞き取れたら褒めるようにする。また、正答を期待するのではなく、聞き取れた単語をどのように解釈しているのかという点でチェックする。

このActivityは、教科評価に使用してもよい。ただし評価する場合、以上の2点を考慮して評価すること。

時間的にTaskの６番ができない場合は、宿題として、次回の授業時に提出させるなどの工夫が必要。

(Ryosuke)